



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信第 107 号

(R5/1/17)



第106回ワーキンググループ会議 (R4.12.22)

「甲賀市在宅介護アドバイス事業の試み

～在宅介護の悩みを軽減するにはどうすればいいのか～

話題提供者：甲賀市在宅医療推進センター 看護師 今村知恵 さん

滋賀県自治体初の、介護福祉士による在宅での介護指導《**甲賀市在宅介護アドバイス事業**》について話題提供していただきました。

参加されたのは医療職、介護職、行政職などの37名。

会場参加者が徐々に増えてきてはいますが、体調やご都合に合わせて、皆さんオンライン参加もうまく活用されていますよ！

『甲賀市在宅介護アドバイス事業』とは？

介護者の困り事や悩み事を解決するために、**介護のプロである介護福祉士を在宅介護コーディネーターとして自宅に派遣**し、介護相談や指導ができる、滋賀県自治体初の取り組みです。

理学療法士や看護師を派遣する事業はあるけれど、介護福祉士を派遣するのは全国でも珍しいんだよ！

事業の目的

介護者の負担と不安の軽減
介護する人、介護される人の腰痛予防
介護職の人材育成、人材確保

対象者

甲賀市で在宅介護されている方、コロナ禍で介護指導が十分と言えない方

相談の半数以上は要介護4または5の人の介護についてなんだって！

【事業を実施して…】

昼夜の排泄介助や屋内の移乗・移動に関する相談事が多いが、介護者の環境改善や腰痛予防を指導することもある

介護者は、自分のことを後回しにしてでも介護を優先する傾向がある

主介護者は配偶者、ヘルパーに次いで息子が多いが、息子からの相談は極端に少ない

男性介護者は誰かに相談せずに、独自の介護のこだわりを持っているのではない

- ◇ 医療と介護の入り口からの早期介入することで、介護者の負担軽減に有効
- ◇ 同職種や多職種との連携により介護方法が統一できる
- ◇ 介護職の人材育成と質の向上につながる



(事業に参加しているコーディネーターさんより)

少し前までは看取りは訪問看護が中心で、ヘルパーに出来ることはあまりありませんでしたが、知識が身についたことで訪看からも信頼されるようになり、本人の役に立てるのではと思っています。

今後の課題

- ・医療の専門家と介護の専門家との連携をすすめる
- ・相談窓口の周知をし、介護しやすい地域づくりをする

参加者の声

- ・この事業は「相談したい」と手を挙げた人を対象としているが、実際にはもっといると思う。そういった人に、在宅で介護をするためのちょっとしたアドバイスをどう伝えるかということが課題の一つ。良い関係を築き頻りに話ができれば良いが、おそらくそういう人は少ないであろうから、細かい項目でチェックリストのようなものを作ってあげれば困り事を拾い上げることができるかもしれない。
- ・結局は「お互い様の介護」ということ。本人も良く、家族も良くという滋賀県の「三方よし」である。
- ・甲賀市で働いている介護福祉士が自分たちから行政にアプローチしたということ、そして、このような制度に行政として予算を出していることが素晴らしい。
- ・医療と介護の制度の壁がある。それぞれの職種の質を高め、職種間で連携をして専門性をどう活かしていくのが大切。
- ・環境や姿勢への支援は重要。このような知識を介護職や看護職がさらに学んで、支援をしていけると良い。
- ・在宅に支援者が入っていないところから出てくる問題は本当に初歩的で、深刻な事態になっていることが多い。行政は、どこに手を加え動かしていくことが大事かを考えないと現場は変わっていかない。
- ・そもそも介護保険は、社会が介護を担おうということではなかった。
- ・本人や家族にとって「介護するのは一人ではないよ」と安心を与え、介護と医療をつなぎ、心の声を紡いでいくことで、安心につながるのだと思った。

「介護や病気の不安があるから退院後に家に帰れない」というご本人やご家族は、福祉用具を利用できることや、多職種が情報共有して連携していることを知ると、安心して「ずっと家にいたい」と言われる。一人ひとりについて皆が悩み、相談しているということが、ご家族やご本人の安心につながっていると思う。



今村知恵さん

【次回ワーキンググループ会議】

○日時：令和5年1月26日(木) 18:30~20:00
○場所：滋賀県庁 新館7階 大会議室 (Web参加可)
テーマ：「食べることからQOLの向上を考えよう！」
話題提供者：滋賀県栄養士会
管理栄養士 清水 満里子 さん

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

e-mail：info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp
HP：mitori.siga.jp

